

17. 渋沢丘陵（神奈川県西部）

震生湖、頭高山などで渋沢丘陵は既によく知られていますが、今回は、頭高山の東南に位置する峠に行ってみましょう。

バスは自由乗降なので声をかけ、ハイキングコース入り口で降ります。急坂を一気に登れば表丹沢と盆地が眺め渡せます。雑木とスギのほの暗いコースは冬であればルリビタキ、若葉のころならキビタキ。右折してトンネル上の舗装道路にでると箱根の山々を遠景に、林と畑がパッチ状に入り組んだ典型的な里山の風景が眺められます。

配水場の先で右折、竹やぶのトンネルや畑の間をツグミ、ホオジロ、ジョウビタキなど見ながら進むと、左に登るコンクリートの細道があるので登ってみましょう。箱根、金時、矢倉、表丹沢の一部が眺められ、ワシタカの飛ぶのが望めます。

元に戻って道なりに曲り、トトロの木（スダジイ）、墓地わきの幅1m位の小道を

突き抜けると小さな丘のふもとです。左折して、落葉でいっぱい竹やぶにそった道をゆるやかな登りで進めば、そこは時間の流れもゆったりとした別世界。何のへんてつもない畑と雑木林が広がるこの丘が今日のメインです。アズマネザサの繁った林では決して出会うことのない花がひっそりと咲く、懐かしい林のたたずまいです。

ここ峠の集落には、心を込めて林や土と向き合う暮らしがまだ僅かにのこされているのでしょ。クスノキのむこうのガードレールにそって下ればさきほど登った地点に戻ります。

半日の観察であれば集落の中を右に400mほどで峠バス停です。ゆっくり出来るならば、左、小さな流れに沿って休耕田の中の小道を行くと、山の根を沢ぞいに丸太橋を渡り静かな鉱山廃坑跡です。戻って畑の中程、轍の跡を行くとコンクリートの



渋沢丘陵

コースタイム

コース入口ー（50分）ー別世界入口ー（20分）ー出口ー（20分）ー鉱山跡ー（25分）ー車道ー（20分）ー頭高山分岐

案内図：丹沢（昭文社）

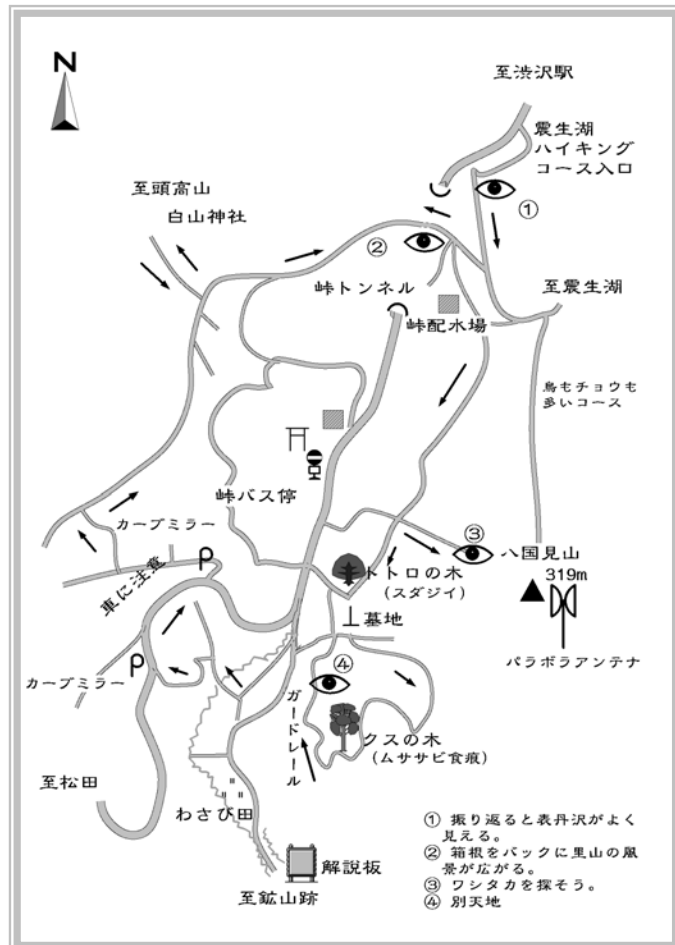
季節

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

17. 渋沢丘陵（神奈川県西部）

細通が斜面上の車道に通じています。更に上の斜面を舗装農道で登りきり、右に行くと頭高山分岐を経て朝の「典型的な里山の風景」地点です。

頭高山分岐を選んでも朝のコースを選んでも渋沢駅までは同じくらいでしょう。雄大な風景が色々なポイントから望むことができ、里山の多様な良さをしみじみと味わえるこのコース、おすすめは晩秋から6月ころまでです。（日置乃武子）



観察できた鳥

1999年12月20日

カケス・ノスリ・ルリビタキ・エナガ・オオタカ・ウグイス・ジョウビタキ・ホオジロ・モズ・アオジ・シロハラ・アカガラ・メジロ・ツグミ・キジバト・ヤマガラ・スズメ・オナガ・チョウゲンボウ・ハシブトガラス・ヒヨドリ

2000年2月1日

モズ・ヒヨドリ・キジバト・ホオジロ・アオジ・ツグミ・シメ・ジョウビタキ・カワラヒワ・ルリビタキ・ハシボソガラス・ウグイス・シジュウカラ・エナガ・コガラ・ヤマガラ・ノスリ・トビ・アオガラ・オオタカ・メジロ・マヒワ・カシラダカ・ミヤマホオジロ・イカル・シロハラ・カケス

過去のデータ（1999年2月～2000年1月）

トラツグミ・ビンズイ・コジュケイ・フクロウ・ウソ・ムクドリ・セグロセキレイ・ハクセキレイ・コサギ・ムクドリ・キセキレイ・ツバメ・キジ・カワセミ・オオルリ・イワツバメ・ガビチョウ・センダイムシタイ・クロツグミ・ヤブサメ・ツツドリ・サンショウクイ・キビタキ・アオバト・ヒバリ・ホトトギス・サンコウチョウ・オナガ・アカショウビン・アオバズク・アマツバメ・ハチクマ・アオサギ・カルガモ・エゾビタキ・ヤマドリ・サシバ・コシアカツバメ・アトリ・ハヤブサ・ヒガラ・ヒメアマツバメ・ゴジュウカラ・ソウシチョウ

あし

- ・小田急線渋沢駅下車 神奈川中央交通バス 峠行き 途中ハイキングコース入り口で下車（運転手に声を掛け）。終点（峠）まで行っても良い。
- ・交通機関問い合わせ先：ページ117参照